



超短波

たちは顔の大きさほどのカブトガニをおそるおそる触ったり、ラッコの剥製を抱いたりして楽しんだ―写真。

入院中の子ども
もたちに海の生き物と触れ合っ
てもらおうと、
取り組む「福岡子どもホスピスプロジェクト」の一環。プロジェクト代表の浜田裕子・九大大学院

福岡市の九州大学病院で
29日、移動水族館が開か
れた。
准教授は「本物の動物に触れることは、子どもたちの成長発達に欠かせない」。病院内に現れた大

院内にウニやヒトデ、
ヤドカリなど約160匹
を展示し、患者やその家
族、11組を招待。子ども
ちの胸に深く刻まれたはずだ。